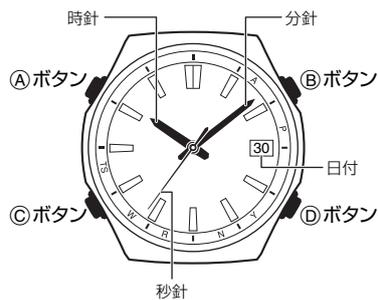


操作のしくみと表示の見方

本書は、携帯に便利なように、一部機能を抜粋して記載してあります。
詳細は取扱説明書をご覧ください。



- (A) ボタンを1回押すと、電波の受信結果を確認できます。さらにそのまま長押しすると、強制的に電波の受信ができます。
- (C) ボタンを約2秒間押し続けると、どの状態からでも時刻表示に戻ります。

タイムシフト機能

本機は、現在の時刻をもとにして、表示する時刻をずらして使うことができます。
受信した時刻より時計を10分進ませて使いたい場合などに便利です。

例) 午後10時10分から、10分進めたい場合

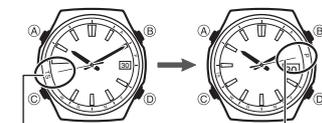
■ タイムシフト時間のセット

1. セット状態にする

時刻表示のとき、

(C) と (B) ボタンを同時に押します

→ 秒針は「TS (タイムシフト)」を指したあと、現在の時刻の午前「A (AM)」/午後「P (PM)」を表示して止まります。



タイムシフト

例) 午後「P (PM)」を指します

2. 時分をセットする

現在時刻よりずらしたい時・分だけ進めた
(遅らせた) 時刻に合わせてます

→ (D) ボタンを押すごとに1分ずつ進み、(B) ボタンを押すごとに1分ずつ戻ります。

※ (D)・(B) ボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるにはいずれかのボタンを押します。



- 1分単位で、現在の時刻より-23時間59分～+23時間59分の範囲で設定できます。
- 正午、または日付をまたいで時刻を変更した場合は、秒針の表示も AM ↔ PM と連動します。
- 日付をまたいで時刻を変更した場合は、日付表示も連動します。

3. セットを終了する

(C) ボタンを押します

→ 時刻はセットした時分だけずれて表示を行います。

※ タイムシフトのセット状態では、針の動きが停止します。ただし針が停止している間も、時計は(内部で)計時を続けています。セットを終了した後、かかった時分だけ自動的に補正します。

■ タイムシフトを解除するとき

「タイムシフト時間のセット」の操作手順 **1.**～**3.**で解除します。

- 手順 **2.**では、他の時計を見ながら、現在時刻(ずれていない時・分)に合わせてください。